

1. 平成26年度 事業報告書

事業の状況

§ 事業をおこなうための演奏団体の指名について

- ・ 指名の基準は、振興会の創立準備期に策定された次の4項目を満たすことが条件となっており、今年度もこれを踏襲した。
 - (イ) 職業専門家で編成される混声合唱団であること。
 - (ロ) 定期演奏会を年間5回以上実施することが可能なこと。
 - (ハ) 演奏の水準が常に高いこと。
 - (ニ) 合唱団員の契約関係が整っていること。
- ・ 東京混声合唱団は創立以来満59年の歴史を持ち、定期公演は年間5回を数え、演奏姿勢に一貫性があり、安定度も高く評価も定まったものとなっている。また契約の諸条件も整備されている。
- ・ 4項目を満たす演奏団体のリスト・アップについては公平原則の視点から常時取材を行い、指名についてのフリー・ハンドを保有するものであるが、現況では適格団体は東京混声合唱団ただ一つにとどまっている。
- ・ これにより指名は東京混声合唱団に決着を見ている。

§ 事業の概要

I) 合唱音楽の演奏会の開催

(1) 定期演奏会 4回、 特別定期演奏会 1回、 計5回

★定期演奏会は第234回から第236回および特別演奏会（八月のまつり）。地方（大阪）での定期演奏会（1回）をあわせて5回

★内容

●平成26年4月18日（金） 第234回定期演奏会

山田和樹さんの音楽監督就任記念。オルガンに浅井美紀さんをお迎えしてのバッハ作曲「来たれ、イエスよ、来たれ」、日本初演となるアメリカの作曲家、ルネ・クラウセン作曲「二重合唱のためのミサ曲」、コントラバスに弊隆太郎さん、打楽器に池上英樹さん、池永健二さんをお迎えしての間宮芳生さん作曲「鳥獣戯画」、そして三善晃さんのアカペラ組曲「地球へのバラード」。一部がオクタヴィアレコードからのライブCD化。「スタイルの異なる合唱作品を並べた意欲的な定期。山田の力量のほどもうかがい知れた一夜だった。（伊藤制子・音楽の友）」

●平成26年8月8日（金）東混 八月のまつり No. 35

恒例の「東混八月のまつり」は35回目。トリトン・アーツ・ネットワーク並びに第一生命ホールとの共催公演。指揮は八月のまつり初登場の大谷研二さん。「原爆小景」完結版と同じく広島原爆のことを歌う三善晃さん作曲「その日—August 6—」、林光さんと宗左近さんによる「月 わたし 風」。そして信長貴富さんへの委嘱が実現、東日本大震災直後より Twitter で詩を発表し続けている福島の人、和合亮一さんの詩に作曲したエレジー「歌と石ころの転がる先に」が齋木ユリさんのピアノで初演。照明は立川直也さん。「大谷の「原爆小景」もまた傾聴に値する指揮ぶりだった。改めて譜面に立ち戻りながら作品の核心を伝えたいという気迫がみなぎり、ときに劇的な高揚も聴かせる。発語はきわめて明瞭。各声部の配置換えで声の混ざり具合を工夫するなど、指揮者のねらいが的確に生かされる。（池田逸子・しんぶん赤旗）」

●平成26年9月17日（水）（大阪）いずみホール定期演奏会 No. 19

山田和樹さんの音楽監督就任記念。4月の東京記念定期より、ルネ・クラウセンのミサ曲と三善晃さん作曲「地球へのバラード」、信長貴富さんをトークゲストにお迎えしての委嘱作品「歌と石ころの転がる先に」の関西初演、鷹羽弘晃さん編曲による楽しい日本の歌。ピアノは齋木ユリさん。「いずみ

ホール定期演奏会を聴き、これまでにはない東混の新しい息吹きを感じた。このことは、本年4月、音楽監督に山田和樹が就任して以来、感じていたことである。（日下部吉彦・うたごえ新聞）」

●平成26年12月4日（木） 第235回定期演奏会

三善晃さんの追悼公演。指揮は大谷研二さん、ピアノは三善さんに師事をした浅井道子さん。1962年の「嫁ぐ娘に」（高田敏子詩）、1965年の「月夜三唱」（中原中也詩）、1980年の「クレーの絵本 第2集」（谷川俊太郎詩）、1990年の「縄文連禱」（宗左近詩）を。NHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」でテレビ放送、NHK-FM「ベストオブクラシック」で全曲放送。「大谷研二の指揮は、何よりも作曲家への、また音楽への敬意と愛情を全身で発信し、合唱団の思いを引き出し包み込むもの。一周忌を経てもなお再演され続ける三善晃の音楽は、私たちに人間を、社会を、日常を洞察することを問いかけているように感じられる。そんな作曲家の思いがホール全体に響いた演奏会だった。（戸ノ下達也・ハンナ）」

●平成27年3月17日（火） 第236回定期演奏会

桂冠指揮者の田中信昭さんの指揮。半世紀の変遷と題し1958年の間宮芳生さん作曲「合唱のためのコンポジション第1番」、1962年と1970年作曲の三善晃さんの女声合唱曲「三つの抒情」と男声合唱の「王孫不帰」。そして今年度委嘱作品、野平一郎さん作曲「転調するラヴソング」（大岡信詩）を世界初演。ピアノは中嶋香さん。「雰囲気のみならず異なる演目を、巧みに奏でる中嶋の見事なピアノ、鮮やかな言葉の世界を表現する田中の指揮と、東混の合唱に酔いしれる。合唱の深化の歴史を刻印した田中信昭と東混の足跡を受け止める演奏会。（戸ノ下達也・ハンナ）」

★曲目紹介

〔第234回定期演奏会〕－世界を翔る若き泰斗山田和樹、東混音楽監督就任記念－
2014年4月18日（金） 第一生命ホール

指揮 山田和樹

オルガン 浅井美紀 コントラバス 弊隆太郎

打楽器 池上英樹 池永健二

●J.S.バッハ作曲 来たれ、イエスよ、来たれ BWV 229(1732)

●ルネ・クラウゼン作曲 二重合唱のためのミサ曲(2011)

●間宮芳生作曲 合唱のためのコンポジション第5番「鳥獣戯画」(1966)

●三善晃作曲・谷川俊太郎作詞

混声合唱のための 地球へのバラード(1984)

〔東混特別演奏会 東混 八月のまつり 35〕

2014年8月8日(金) 第一生命ホール

指揮 大谷研二 ピアノ 斎木ユリ 照明 立川直也

- 林光作曲・原民喜詩 原爆小景(1958年/1971年委嘱作品)
- 林光作曲・宗左近詩 混声合唱とピアノのために 月 わたし 風(1992)
- 三善晃作曲・谷川俊太郎詩
混声合唱とピアノのための その日-August 6-(2007)
- 信長貴富作曲・和合亮一詩 混声合唱とピアノのためのエレジー
歌と石ころの転がる先に(2014) -委嘱作品初演-

〔いずみホール定期演奏会 No. 19〕 -世界を翔る若き泰斗山田和樹、東混音楽監督就任記念-

2014年9月17日(水) いずみホール

指揮 山田和樹 ピアノ 斎木ユリ

- ルネ・クラウセン作曲 二重合唱のためのミサ曲(2011)
- 鷹羽弘晃編曲 混声合唱のための 歌い継ぎたい日本の歌 より
<みかんの花咲く丘><思い出のアルバム>
<おもちゃのチャチャチャ><幸せなら手をたたこう>
- 三善晃作曲・谷川俊太郎詩 地球へのバラード(1984)
- 信長貴富作曲・和合亮一詩 混声合唱とピアノのためのエレジー
歌と石ころの転がる先に(2014) -委嘱作品再演-

〔第235回定期演奏会〕 -三善晃追悼・三善晃の合唱作品-

2014年12月4日(木) 第一生命ホール

指揮 大谷研二 ピアノ 浅井道子

- 三善晃作曲・高田敏子詩 混声合唱曲 嫁ぐ娘に(1962)
- 三善晃作曲・中原中也詩 女声合唱のための組曲 月夜三唱(1965)
- 三善晃作曲・谷川俊太郎詩 混声合唱組曲 クレーの絵本 第2集(1980)
- 三善晃作曲・宗左近詩 混声合唱とピアノのための 縄文連禱(1990)

〔第236回定期演奏会〕 -半世紀の変遷-

2015年3月17日(火) 東京文化会館小ホール

指揮 田中信昭 ピアノ 中嶋香

- 間宮芳生作曲 合唱のためのコンポジション第1番(1958年委嘱作品)
- 三善晃作曲・三好達治詩 男声合唱のための 王孫不帰(1970)

- 三善晃作曲・立原道造、中原中也詩
女声合唱のための 三つの抒情（1962）
- 野平一郎作曲・大岡信詩
混声合唱とピアノのための
転調するラブソング（2015年委嘱作品）—初演—

II) 合唱作品の委嘱

今年度は次の2人の作曲家への委嘱作が誕生した。

- ・信長貴富作曲・和合亮一詩
混声合唱とピアノのためのエレジー
歌と石ころの転がる先に
(東混・八月のまつり35 2014.8.8)

「信長貴富の混声合唱とピアノのためのエレジー「歌と石ころの転がる先に」は東日本大震災をテーマにした委嘱初演作品。作曲者の意気込みや和合亮一の詩に重ねたさまざまな思いの相乗が、渾身の力でうたいあげられた。（池田逸子・しんぶん赤旗）」

「東京混声合唱団2014年度委嘱作品『歌と石ころの転がる先に』は、東日本大震災直後に和合亮一が発信した詩などから構成された「ことば」に信長貴富が作曲した。ことば、音や叫び、メロディが途切れることなく重なり、絡まり、のたうちまわりながら、止まることなく進む。斎木のピアノも声と協奏し挑発しながら音楽を奏でる。そして一瞬、敬虔なハーモニーが響き、聴く者に安寧をもたらす。しかし、再び転び出した音楽は「北へ」のことばに連なっていく。恐ろしいまでに重層的で躍動的な音楽。（戸ノ下達也・ハンナ）」

- ・野平一郎作曲・大岡信詩
混声合唱とピアノのための
転調するラブソング
＜さわる＞＜マリリン＞
(第236回定期 2015.3.17)

「委嘱新作は、野平一郎「転調するラブソング」。野平は「さわる」「マリリン」という大岡信のテキストに、緻密な音楽を組み立てる。「さわる」というキーワードの変転、マリリン・モンローの死をテーマとした「マリリン」の葬送とジャズという素材は、聴く者を現実と幻想の邂逅の世界に誘う。（戸ノ下達也・ハンナ）」

「野平一郎が大岡信の詩に作曲した《転調するラブソング》。委嘱初演

だけに、再演物に比べて些かこなれ具合の甘さも感じさせるものの、東混らしい颯爽とした演奏を聴かせた。（国土潤一・音楽の友）」

Ⅲ) アマチュア合唱団への指導者派遣

大谷研二を東工大コールクライネス、学習院女子大合唱団などの育成指揮、ほかに全日本合唱連盟各支部の合唱講座の講師・地区大会・全国審査などに派遣した。

Ⅳ) 合唱音楽に関する調査研究

諸外国に於ける混声合唱団のレパトリー調査を引き続き実施した。

Ⅴ) 合唱歌手の育成

検討中

Ⅵ) 音楽に関する出版物の刊行

「合唱音楽」第34号 B5版 52ページ 3月31日発行 1,500部

Ⅶ) 文化庁主催「文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－」

小中学校等において、一流の文化芸術団体による舞台芸術公演を行い、次代の担い手となる子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的とする。公演団体を東京混声合唱団とし、東京都、千葉県、茨城県、山梨県にて、本公演を24公演行った。

Ⅷ) 東京混声合唱団作曲委嘱活動賛助・支持会制度

個人・企業より、支持会・賛助会あわせて160名を越える支援を引き続き頂いている。

附属明細書について

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。